

日本公認会計士協会

四国会 ニュース

〒760-0027 高松市紺屋町1番地3 香川紺屋町ビル6階 TEL 087-826-7628 携帯 090-4788-3949
FAX 087-826-7629 e-mail:shikoku@sec.jicpa.or.jp 発行人 吉井 修 編集人 真鍋恵美子



ゆず(高知県馬路村)

目 次

年頭所感	役員会だより	8
2022年頭にあって	補習所だより・準会員会四国分会だより・トピックス ..	13
日本公認会計士協会四国会会長	四国会事務局の紹介	15
吉井 修 ... 2	四国会行事予定・会員の状況	16
環境変化への適応に向けた取組—未来を切り拓くために	研修会 実施概要	17
日本公認会計士協会会長 手塚 正彦 ... 3	異動一覧	20
新年のごあいさつ	寄贈等新刊図書一覧・会員慶弔	21
四国財務局長 日室 裕二氏 ... 4	お知らせ	22
寅年を迎えて	あとがき	24
新入会員・準会員の自己紹介・CPEの重要なお知らせ ... 7	第43回研究大会 研究発表の募集について	25



2022年頭にあたって

日本公認会計士協会
四国会会長 吉 井 修

新年明けましておめでとうございます。

令和4年、寅年の始まりです。12支の3番目にあたる寅年で、個人的にも何かと良縁のある「3」という数字、四国会会長任期3年目の最終年である今年、新しく草木が生じて成長するといわれる寅年にあやかって、次の四国会執行部に少しでも勢いのあるバトンタッチができることを願っています。

昨年のスポーツ界の大きな出来事といえば、東京オリンピック・パラリンピックとメジャーリーグで華々しい活躍をしたリアル二刀流の大谷翔平選手が挙げられると思いますが、いずれもコロナ禍の鬱々とした気分を随分と癒してくれたことと思います。スポーツの素晴らしさを再認識し、メダル獲得や本塁打の数という結果だけでなく、その陰にある本人や関係者の努力の過程が見えて、感動を覚えたのは自分だけではないのではと思います。個人的には柔道の敗者復活戦で、いろんな思いを背負い戦い続ける日本人選手の姿に、特に感動しました。

さて、四国会の会務活動ですが、会員・準会員の皆様のご協力を得ながらコロナ禍でのオンライン対応を交えながら、可能な範囲でオンライン外の活動を実行してきました。協会本部の手塚会長体制のもと、『社会に貢献する公認会計士』の実践を通じて社会からの信頼を築く』ため、特に地域活性化に重きを置き、IPO支援ネットワークの構築や会計基礎教育・ハロー会計を通じて地域社会と繋がる機会を増やし、地方自治体や非営利法人、学校法人、中小企業支援等の各局面で、これまでどおり皆様に支援していきたいと思っております。

現在、四国会の会員等は270名強ですが、昨年は論文式試験合格者9名（2020年度6名、2021年

度3名）と他地域会からの異動13名の方々のうれしい新規入会がありました。他地域会へ異動される方もおられますが、四国会にとって貴重な人材が増えたことに違いはありませんので、これら皆さんとともに引き続き四国会を盛り上げていきたいと思っております。

まだ終わりの見えないコロナ禍でも可能な手段や方法があり、困難なことに対する努力を惜しまず一歩踏み出すことが大事と思っておりますので、顔を合わせる対面の大切さ重要さをお考えいただき、四国会役員の皆様にもよろしくお願い致します。

私の地元愛媛では、昨年2月にマラソン日本新記録を樹立した宇和島東高校出身の鈴木健吾選手、4月にはマスターズで優勝した松山英樹選手、10月にはノーベル物理学賞を受賞された三島中学（現：三島高校）出身の眞鍋淑郎氏と東・中・南予から見事な吉報が届きました。四国には潜在的に優秀な人材がまだまだおられると思っておりますので、そのような地域において公認会計士として益々社会貢献できるよう活躍していかなければと強く思う次第です。

最後に、オミクロン株等のコロナ禍が続いておりますので、皆様ご自愛していただき、引き続き四国会会務活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。





環境変化への適応に向けた取組 —未来を切り拓くために

日本公認会計士協会
会長 手塚 正彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素より当協会の会務にご理解ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

過去20年で世界の社会・経済環境は激変し、近年では、世界のカーボンニュートラルに向けた取組は、「産業・金融革命競争」というべき様相を呈するようになりました。このような変化する時代の中で、公認会計士が社会からのニーズの変化に応え続けられる環境を整備することが当協会の重要な使命です。年頭にあたり、変化への適応に向けた当協会の取組について述べるものとします。

1. 会計監査の信頼性確保

先般開催された「会計監査の在り方に関する懇談会」では、これまでの環境変化を踏まえ、公認会計士に関連する制度について幅広く議論され、「論点整理」¹が公表されました。そして、「論点整理」を踏まえ、金融審議会公認会計士制度部会において、公認会計士法の改正に向けた議論が行われました。

上場会社監査の信頼性確保については、上場会社の監査に高い規律を求める制度的枠組みについて、会則上の制度である上場会社監査事務所登録制度を、公認会計士法上の制度とすることが論点とされています。上場会社監査事務所の登録制度の実効性を確保するためには、これが法定化されたとしても、当協会が制度設計と運用に関して主要な役割を担うべきであると考えており、今後も制度の改善に主体的に取り組んでいきます。

また、中小監査事務所等（以下「中小事務所」という。）に対する支援の充実も議論されました。監査の担い手として中小事務所が果たす役割が年々大きくなっており、経営基盤の充実が中小事務所の重要な経営課題となっています。当協会は、上場会社監査の品質の一層の向上を後押しするために、中小事務所への支援の充実に取り組みます。

2. 持続可能な経済社会の構築に向けて

当協会は、社会課題の解決に積極的に取り組むべく2021年7月にSDGs宣言²を公表しました。以下に、公認会計士が特に貢献できると考えられる事項について3つご紹介いたします。

(1) 企業情報開示の拡充と信頼性確保

現在、非財務情報の開示基準の策定に向けた具体的な取組が、国内外において加速しています。当協会は、非財務情報開示制度の確立に積極的に貢献するとともに、情報の信頼性確保に対する社会の期待に応えることができるよう、保証の枠組みの在り方について検討を進めて参ります。

(2) 地域活性化

コロナ禍を契機にビジネスの在り方や働き方が見直されたことは、首都圏一極集中の弊害を克服し、地域活性化を促進する大きなチャンスでもあります。また、最近ではSDGsを地域活性化に活用する中小企業や自治体が増えています。公認会計士は、地域における中小企業への経営支援、企業・自治体の健全な組織ガバナンスの構築支援、SDGsの活用支援等の業務を通じて、地域活性化に貢献できると考えています。当協会は、地域活性化に取り組む会員に対して、必要な情報や研修機会を提供してまいります。

(3) 会計リテラシーの普及

学習指導要領の改訂により、中学校と高等学校の授業で「会計情報の活用」が取り上げられたことから、当協会は、教師用と生徒用の教材を作成するなど学校教育支援に取り組んでいます³。

また、2005年から始めた「ハロー！会計」⁴は、地域会の皆様のご貢献によって、これまで約600回の講義を実施し4万人を超える方々に参加いただくことができました。子供たちに会計の大切さを知ってもらうことは大変重要なことです。引き続きお力添えをお願いいたします。

会長に就任してから2年半、コロナ禍という経験したことのない困難な状況での会務運営を強いられたものの、会員の皆様のご支援、関係各方面のご協力、そして、当協会役員及び職員の献身的な努力に支えられ、着実に前進することができました。

現在、2030年を見据えた当協会のビジョンを示すビジョン・ペーパー2022の取りまとめを行っています。これまで取り組んできた施策のうち任期中に完了しないものや、今後解決に取り組むべき課題を明らかにし、次の世代に繋げていきます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

¹ 2021年11月12日公表「会計監査の在り方に関する懇談会（令和3事務年度）論点整理—会計監査の更なる信頼性確保に向けて—」

² SDGs宣言「プロフェッショナルパートナーとして、信頼を紡ぎ、豊かな社会を創造し、未来を拓きます。」
https://jicpa.or.jp/specialized_field/20210714hfb.html

³ <https://jicpa.or.jp/about/activity/basic-education/tools.html>

⁴ <https://jicpa.or.jp/about/activity/hello-schedule/>



新年のごあいさつ

四国財務局長 日室裕二

あけましておめでとうございます。

日本公認会計士協会四国会の会員の皆様におかれましては、日頃から四国財務局の業務運営に関しまして、ご理解ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

新年を迎えるに当たり、企業会計・監査制度、公認会計士を巡る昨今の動向と今後の展望について、金融庁の取組みを申し上げます。

まず、初めにコーポレートガバナンス改革について申し上げます。

2021年6月に再改訂したコーポレートガバナンス・コードにおいて、取締役会の機能発揮、企業の中核人材の多様性の確保、サステナビリティを巡る課題への取組み等に係る事項が盛り込まれました。本年はまず、本改訂を踏まえた取組みを含め、これまでのコーポレートガバナンス改革のフォローアップを行います。また、企業年金等の機関投資家におけるスチュワードシップ・コードの受入れ等を促すため、2020年のスチュワードシップ・コードの改訂のフォローアップを行い、今後の課題を整理することとなっております。

次に開示情報の充実について申し上げます。

2021年6月、企業を取り巻く経済社会情勢の変化を踏まえ、投資家の投資判断に必要な情報を適時に分かりやすく提供し、企業と投資家との間の建設的な対話に資する企業情報の開示のあり方について幅広く検討を行うよう、金融審議会へ諮問がなされました。これを受けて同年9月より、ディスクロージャーワーキング・グループが開催され、サステナビリティに関する開示のあり方などの検討が進められております。また、2019年3月から公表・更新を行っている「記述情報の開示の好事例集」においても、サステナビリティに関する開示の好事例が取りまとめられた上、2021年12月に公表されました。

続いて、会計監査の信頼性確保、企業情報の開

示のあり方に向けた取組みについて申し上げます。

2021年9月より、金融庁は「会計監査の在り方に関する懇談会」を開催し、企業活動が複雑化し、上場会社の多様性が広がる中、中小監査事務所を含む上場会社の監査の担い手の裾野が拡大していることや、女性活躍の進展など公認会計士の働き方の多様化等を踏まえ、会計監査の信頼性確保や公認会計士の能力発揮・能力向上等を内容とする論点整理を頂きました。

論点整理では、上場会社の監査に高い規律を求める制度的枠組みや、監査法人の社員の配偶関係に基づく業務制限の見直しについて検討課題とされており、2021年11月より、金融審議会公認会計士制度部会において、公認会計士制度の見直しに向けた具体的な検討が行われております。

また、2021年11月に開催された企業会計審議会において、「監査に関する品質管理基準」が改訂されました。監査法人のガバナンスや業務運営(品質管理体制)について、当該改訂を踏まえた適切な対応が期待されます。このほか、本年は「監査上の主要な検討事項(KAM)」に関する実務をより良いものとして定着させていくため、記載内容や傾向に関する分析や、有識者等との議論を行い、特徴的な事例の公表の検討を行うことが予定されております。

最後に、四国財務局は公認会計士試験を実施しており、近年、その受験者数は増加傾向にあります。引き続き、大学等において公認会計士制度や業務内容の説明を行うなど広報活動に取り組んでまいりたいと考えております。

末筆となりましたが、貴会のますますのご発展ならびに会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

寅年を迎えて



これからの10年は

香川県部会
岸上 茂樹

還暦の年から早や12年の歳月が経とうとしています。私の生まれた1950年の平均寿命は59.57歳、それから72年後の今年のそれは81.55歳とおよそ22年も延びています。私にあてはめれば残り10年です（10年の間にはきっとまた平均寿命は延びているはずですが）幸いなことに軽い糖尿病を患っているだけでいたって元気です。もうかれこれ10年間毎日8000歩のウォーキングをしています。始めたきっかけは8000歩のウォーキングががん予防になるとの本を見つけたことです。自分でも嫌になるほどがん恐怖症から来たものですが、副次効果か平均体温が35.7度から36.6度と約1度も上がって風邪をひかない体質になっています。しかし、ドライバーの飛距離がガクンと落ちてしまいました残念。

生まれた年は団塊世代の最後。1クラスに60人も教室はぎゅうぎゅう詰め状態、しかし今で言う「陰湿ないじめ」などはなく、平和に学生時代を過ごすことができました。

もともとは理系の出身で、某電機メーカーでハードウェアの設計をしていました。どこでどう間違ってしまったのか、最も苦手とする「金のこと」、「人間との付き合い」を必要とする仕事を職業としてしまったのです。生まれ持った性格や苦手なことを直すことはできませんでしたが、幸いなことに人付き合いの得意な職員の助けも借りて、自分の得意とする分野（数字に対する自信、人に説明する能力、文章作成能力など）を受け持ち、大きな失敗なくここ40年間を過ごすことができましたように思います。

これからの10年間をどのように過ごしていけば良いのかを考えたとき、40年間培ってきた会計の知識、またこれからも経験するであろう知識を人様に役立ててもらえるのではないかと、「お役立ち虎の巻」と名付けた設問集を作ろうと考えました。今現在約2800問作成済みで、将来的には5000問を目標に日々作成に励んでいる今日この頃です。

（希望者があればオリジナルをお貸ししますのでコピーはご自分でお願いします。）

「虎狂・寅男のひとりごと」

愛媛県部会
菊池 博俊

あっという間の60才です。まだ、中3生の子育て中なので、10数年前から変わらない日々を送っています。

25才で会計士試験に滑り込み合格し、平成8年に独立開業して25年が過ぎました。平成19年に四国会の役員となり5期15年、役員最後の年を迎えようとしています。四国会会員の皆様のご協力により、一昨年の西日本連合総会を初めてのオンライン開催で無事終えることができたことが何よりの思い出となりました。

業務としては社会福祉法人の監査・税務等を主に行ってきました。当初は全く知識がなく、また情報も不足していたため、法令通知の学習から入り、総合福祉研究会という団体と出会ったことが、福祉業務の転機となりました。福祉に取り組む税理士・会計士の団体で、介護保険制度開始前から福祉の会計・経営等を諸先輩方が探求されており、その方々の指導のもと実務対応をしてきた経験が今日の基盤となっています。

厚生労働省社会・援護局（福祉基盤課）や四国四県の社会福祉協議会との繋がりをベースに社会福祉法人の経営に資することが当面の役割と認識し活動を進めていきたいと考えています。

昭和37年生まれで何の因果か阪神ファンでタイガージャージ（慶応ラグビー）とトラトラトラの人生ですが、60才からの残りの人生、子育てを終えたあとは、甲子園とゴルフ場を活動のメインの場所とできるよう、後一踏ん張り頑張っていきます。

もう少し頑張りますので、宜しくお願いします。皆様のご健勝・ご活躍を祈念しております。

年男放談

愛媛県部会

武智 弘泰

きちんと記録をつけているわけではないのですが、私、最近公認会計士第二次試験に落ちたショックで目が覚めるという夢をみるようになってきました。

現実でも遅い合格ではあったのですが、夢の中で三十路を目の前にした不合格に「もうこれ以上の受験は無理だ」という思いと、「どうにかしてあと一年やれないか」「いや、一年とか絶望的に長いよ」と、グルグルと混乱し冷や汗を流し始めた時にフッと目が覚めるんです。

若い時は別に試験だけじゃなく、学生生活や初めての就職や恋愛にクルマetc.もっと他に色々楽しいことや辛いことが多少なりともあったわけなんです。若い頃を思い出す夢ってこの二次試験の夢ばかりだなという印象です。やはり心身ともに当時は相当に堪えていたんでしょう。

何度同じ夢をみても慣れるということはなく、夢から目覚めた後に「夢だったのか、助かった。。。と心底安堵して、「今日の予定はアレとコレ、忙しいなあ。でも、今の仕事ができることは幸せなんだな」と我に返るのもお決まりのパターンです。

さて、この年男のコラムも2回目を承ることとなりました。48歳になります。

二次試験に合格して以降、おかげさまで新しい案件や取組みに、毎年毎年毎年毎年毎年毎年（おっとちょっと愚痴？）従事させていただけております。

会計士（補）になって以降、一度として同じルーティンをゆったり繰り返すという一年を過ごしたことはなく、時々「しんどいなあ、と立ち止まることもあります。

ひょっとしたら、時々思い出したようにみてしまう不合格の夢は、立ち止まっちゃったり、下手すると後ろ向いて走り始めちゃいそうな私に対する警告夢なのかもしれませんね。

とはいえ、「四十にして惑わず」「五十にして天命を知る」には程遠くバタバタと毎日を過ごしております。還暦までにはもうちょっと落ち着いた投稿ができれば良いなあ。

今後ともよろしく願いいたします。

寅年を迎えて

愛媛県部会

松友 映明

年をとるほど自分の年齢に無頓着になっている。11月に来た新春放談の原稿依頼によって「ああ、もう12年も経ったのだなあ」と改めて知る。

前回寄稿したときに生まれたばかりであった長男は12歳となり、来年から中学生になる。長女は来年大学受験で再来年から大学生になる。子供たちの現実の成長をまとめて振り返ってみると、時の流れの早さを実感する。そして、人生は想定外の出来事だらけであると理解する。

この12年、本当に大規模災害が多かった。東日本大震災、豪雨災害、コロナ禍。特にコロナ禍は環境を一変させてしまった。お酒はもともと嗜む方ではないが、三か月・半年単位で一滴も飲まないでいるのは成人してから初めてのことである。

一方、仕事面では、監査“Audit”の語源が“Audience（聴衆）”であるとおり、対人でのコミュニケーションを大前提としていた仕事に「リモート」という仕組みが否応なく持ち込まれた。移動の苦からは少し解放されたが、オンラインの会議はつまらない。人の考え方を学んだり、表情から言いたいことを察してベクトルを合わせたりの、機微に触れにくい。しゃべりたいことがある人が、しゃべりたいだけしゃべって終わることもある。私自身、「相談があるのでリモート会議します」よりも「相談があるので来てもらえますか？」の方が嬉しかったりするが、反面、コロナ後の仕事の仕方について真面目に考えられていない証拠でもある。

この12年間は多くの方のご縁に恵まれ、様々な仕事をさせていただいた。お客様をはじめ、ご縁があった方々には感謝しかない。未熟さゆえの失敗もあったが、公認会計士という職業を選んで本当に良かったと改めて思う。

次に原稿を書くときには還暦である。父がそうであったように「一丁上がり」といきたいが、将来の我が国では喜寿や傘寿くらいまで働かないといけなくなるような気もする。野村克也監督は「金を残すは三流、名を残すは二流、人を残すは一流」と言った。うん、まだまだ努力しなければ、と思う。



新入会員・準会員の自己紹介



準会員（香川県支部会）

原 正道

(2021年8月23日入会)

この度、四国会の準会員となりました原正道と申します。現在は、有限責任監査法人トーマツの高松事務所に所属しております。

出身は、徳島県名西郡石井町です。高校卒業後、大学で四国を離れましたが、大学卒業後は四国に戻って、公務員として高松で7年、徳島で3年勤

務いたしました。前職で働く中で、より専門的かつ実践的な知識や能力を身につけたいと思ったことが、公認会計士を目指したきっかけです。受験勉強は決して平坦な道のりではありませんでしたが、無事、2020年度の論文式試験に合格することができました。監査法人に入所してからは、事務所の先輩方に支えられながら、少しずつ実務にも慣れてきたところですが、まだまだ知識・経験ともに不足しておりますので、早く一人前の公認会計士になれるよう日々精進して参りたい所存です。

生まれ育った四国の地で、業務を通じて地域経済の発展に貢献したいと思っておりますので、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

★CPEの重要なお知らせ★

- ◎免除・軽減の申請期間は4月1日～8月31日までです。
8月31日の期限後に軽減の事由が発生した場合は、速やかに申請してください。
- ◎免除・軽減の申請は**事業年度ごと**に必要です。
- ◎「会計・監査ジャーナル」指定記事等による自己学習でのCPE履修は、**毎年度40単位**が上限です。
- ◎e-ラーニング（2020年3月1日から無料で受講可能）は電子申告をご登録されている方にのみご利用いただけます。
電子申告への変更はCPE ONLINEへの利用登録が必要です。
FAX申告の方もこの機会に電子申告への登録方法のご変更をご検討ください。
- ◎必須単位数について（軽減申請が承認されても必須単位数の取得は必要です。）
全会員……**「職業倫理」に関する研修科目 2単位**
「税務」に関する研修科目 2単位
加えて、法定監査業務に従事する会員……
「監査の品質及び不正リスク対応」に関する研修科目 6単位
(うち2単位以上は、不正事例研究(研修コード3192)に該当する研修を履修しなければならない)
- ◎「法定監査業務に従事する会員に該当するか」のご報告が必要です。
ご報告をされていない場合は、「法定監査業務に従事する会員」とみなされますので、ご注意ください。(2021年度報告期限：2022年4月15日まで)
- ※2021年度のCPE履修期間は、2022年3月31日(木)まで、申請期間は2022年4月15日(金)までです。
- ※研修方法や単位計算方法等詳細は「CPE LETTER」2021年保存版をご覧ください。
また、ご不明な点は、日本公認会計士協会 研修グループまでお問い合わせください。
(TEL 03-3515-1126)

役員会だより

四国会定例役員会議事録

(2021年度第2回)

1. 日 時

2021年9月3日(金)

午後1時30分～午後3時50分

2. 場 所

日本公認会計士協会四国会研修室

3. 出席者(19名)

(会 長) 吉井

(副会長) 久保、※菊池、※大寺、橋本

(幹 事) 東、※越智、※堀川、※野村、
平野、山地、※影浦、※加藤、
※木本、※矢野、※福山、※真鍋、
齊藤

(監 事) 橋川

※はオンライン参加者

4. 欠席者(3名)

池田幹事、田中監事、石川顧問

5. 陪席者(2名)

浪越事務局長、香川職員

6. 議 事

I 【会長挨拶】

吉井会長より最近の協会動向等挨拶があった後、規定により議長となり議事進行を行った。

東総務・会計担当幹事の司会により出席者は定足数を満たしている旨の報告がなされた後、吉井会長が議事録署名人に野村幹事を指名し議事を進めた。

II 【審議事項】

- (1) 四国会選挙管理委員会委員の選任および役員選挙投票期限日の承認について

吉井会長より資料に基づき説明があり、承認について決議を求めたところ賛成多数で承認された。

なお、副会長は県部会会長を兼ね4人、幹事も現行どおり15人とし、各県の内訳は従来どおりの会員数割とする方向である旨が伝えられた。

- (2) 四国会ニュース新春号(第79号)の編集方

針(案)について

真鍋広報担当幹事より資料に基づき説明があった後、編集案に沿って発刊することで決議を求めたところ賛成多数で承認された。

III 【協議事項】

- (1) 2021年度の図書配付事業について(対象書籍の検討)

東総務・会計担当幹事より、前年度は全員に「会計監査六法」を配付したが、今年度は対象図書の中から希望の書籍を配付する方法で実施したい旨、説明があった。平野幹事から資料に記載の対象図書のうち、「監査実務指針集五訂版」については大型版(「監査実務ハンドブック」)も発行されているので、それも選択できるよう追加してはどうかとの意見があり、東総務・会計担当幹事は、そのように対応したいと回答した。

また、久保副会長から毎年発行される書籍の発行日が3月30日のものが多く、最新版を配付するには実施時期を検討する必要があるのではないかと、との意見があり、東総務・会計担当幹事から期末のため予算消化や新年度予算成立のタイミング等を検討しなければならないが、継続事業と決定しているわけではない旨の回答があった。

IV 【報告事項】

- (1) 香川大学制度説明会(2021年7月7日(水))について

久保副会長・真鍋広報担当幹事より資料に基づいて報告があった。

- (2) 今治西高等学校制度説明会(2021年7月27日(火))について

矢野幹事より資料に基づいて報告があった。香川県部会から1名の若手会計士を試験制度説明のため応援として参加させていたが、吉井会長から愛媛県部会で対応できることでもあるし、特段のことがなければ他のところと同様に、2名の会計士で担当することが望ましいとの指示があり、矢野幹事は次回からそのように実施すると回答した。

- (3) 「公認会計士の日」記念事業について

真鍋広報担当幹事より資料に基づき報告が

- あった。
- (4) 「第42回研究大会福岡大会」について(2021年9月17日(金)開催)
吉井会長より資料に基づいて完全オンラインでの開催となった旨の報告があった。また、現地参加者への交通費補助については来年度以降も継続して欲しい旨のコメントがあった。
- (5) 研修会実施報告および開催予定について
各担当幹事より資料に基づき報告があった。
- 実施報告
- ① 2021年上期監査事例研修会(全2回)
(6月3日(木)、6月24日(木)四国会研修室+リモート)
山地幹事よりコロナ禍で講師を呼べずビデオ研修となった旨の報告があった。
- ② 公会計研修会「新旧現包括外部監査人及び補助者による意見交換会」
(6月4日(金)リモート)
矢野幹事より報告があった。
- ③ 必須科目(収録動画)研修会
(7月14日(水)、7月20日(火)四国会研修室+リモート)
山地幹事より報告があった。
- ④ 女性活躍推進委員会研修会
(8月31日(火)四国会研修室+リモート)
真鍋幹事よりリモートではあるが講師を招いて実施した旨の報告があった。
- 開催予定
- ① 社会福祉法人研修会(11月18日(木)四国会研修会+リモート)
加藤幹事より社会福祉法人関係者を含め各県社協にも協力をお願いするなど、対象を拡大して開催する予定である旨の報告があった。
- (6) 「公認会計士ブランディングプロジェクト取組状況説明会」実施報告について
吉井会長より資料に基づき、今後の公認会計士の社会的な地位の向上や拡充に向けた取り組みであり、協会HPなども見て欲しい等の報告があった。
- (7) 「会計・監査ジャーナル別冊第3号」について(地域会会長インタビュー)
吉井会長より資料に基づき報告された。また他の地域会の活動状況等についても参考にして欲しいとの説明があった。
- (8) 本部役員会・委員会の報告について(5月～8月)
- ① 本部理事会・地域会会長会議の報告
吉井会長より資料に基づき報告があった。
- ② 各委員会・会議の報告(出席委員)
● 中小事務所等施策調査会報告
木本幹事から資料に基づき報告があった。
- (9) 地域会定期総会における会務報告・会員の声を聞く会での意見とりまとめ
- ① 本部におけるとりまとめ
吉井会長より資料に基づき報告があった。
- ② 四国会における「会員の声を聞く会」での意見等に対する本部回答
吉井会長より資料に基づき報告があった。
- (10) 四国会・各県部会の活動報告(4月～7月)
各副会長より資料に基づき報告があった。
- (11) その他
- ① 2021年度の役員会等行事予定(2022年2月役員会開催地の変更ほか)
吉井会長及び関係幹事から資料に基づき説明があった。吉井会長から、12月3日開催予定の第3回役員会については、コロナの状況によっては、オンライン開催に変更、懇親会等の行事も中止となる。その場合は高知での開催の意味がなくなるので変更も有り得る。翌年2月10日開催予定の第4回役員会については、その他行事を含めて高松での開催に変更する。また、次の定期総会は2022年6月23日(木)にクレメント高松において懇親会と併せて開催する。親睦ゴルフ大会についても実施するが、総会翌日がウイークデーでもあるので、開催日や開催場所も含め、矢野幹事に調整をお願いしたい旨の説明があった。
- 菊池副会長から、8月開催予定だった会計研修会については、コロナ禍のため、地元企業へ積極的な開催につながらず、できる限り年内開催に努めたい。また中小企業向けに県の担当課や商工会議所等ともタ

イアップした形で計画したい旨の説明があった。

真鍋幹事から、10月のハロー！会計in松茂中学校は、7月に徳島県教育委員会から毎年行っている「100年先を創る起業家育成事業」の一環として提案があったものであると経緯の説明があった。久保副会長から、教育委員会への訪問は毎年実施するののかとの質問があり、吉井会長から今年度から新学習指導要領に会計が入ってきた。学校現場では専門的に教えることができる先生も少ない中で公認会計士がサポートできることの周知や公認会計士を知ってもらい、ひいては将来の人材発掘につなげたい。これまでの制度説明やハロー！会計に加えて、学習指導要領に入ってきた会計基礎教育の3本柱でアプローチしていく旨の説明があった。

愛媛県、香川県については春先に教育委員会を訪問したが、コロナ感染拡大もあり、それ以降の動きはない。確かにコロナ禍で動きづらい面はあるが、電話やメールなどを活用してできることは取り組んでもらいたいとのコメントがあった。

- ② 会員・準会員の異動・慶弔等(4月～7月)資料に基づき報告された。



第2回 定例役員会(四国会研修室)

四国会定例役員会議事録

(2021年度第3回)

1. 日時

2021年12月3日(金)

午後1時30分～午後4時

2. 場所

城西館(高知市上町)

3. 出席者(17名)

(会長) 吉井

(副会長) 久保、*菊池、大寺、橋本

(幹事) 東、越智、*堀川、*野村、平野、*山地、*加藤、*木本、*矢野、*福山、斉藤

(顧問) *石川

*はオンライン参加者

4. 欠席者(5名)

池田幹事、影浦幹事、真鍋幹事、田中監事、橋川監事

5. 陪席者(2名)

浪越事務局長、香川職員

6. 議事

I 【会長挨拶】

吉井会長が最近の協会動向等挨拶を行った後、規定により議長となり議事進行を行った。

東総務・会計担当幹事の司会により出席者が定足数を満たしている旨の報告があった。続いて吉井会長が議事録署名人に堀川幹事を指名し、議事の進行順を若干変更することの説明後、議事に入った。

II 【報告事項】

(1) 四国会役員選挙について(進行順入れ替え)

オンライン参加の石川選挙管理委員会委員長に代わり、選挙管理委員会事務局の浪越事務局長より資料に基づき経緯および立候補者全員の無投票による当選結果が報告された。その後、吉井会長の要請に基づき、次期会長の久保副会長、ハロー！会計開催のため欠席の真鍋幹事を除く次期副会長の東総務・会計担当幹事、橋本副会長、矢野幹事から一言ずつ抱負が述べられた。

(2) その他(進行順入れ替え)

③ その他・事務局と役員とのコミュニケーション

浪越事務局長より資料に基づき、事務局各スタッフ毎の業務について説明があり、その後、吉井会長の求めにより、各スタッフから自己紹介と簡単に現在の業務についての報告がなされた。

越智幹事から、負担になる業務について

は他地域会でも同様だろうから、問い合わせてみるのもいいのではないかと提案があった。また、各県部会業務は、県部会長が個人で担っているケースも多く、その負担が若手の会務に参加しようという意識を阻害しているのではないかと、現在の業務が効率化でき、四国会事務局でサポートすることも期待しているとの発言があった。これに対しては吉井会長から、香川県部会は従来から、愛媛県部会も一部は事務局で行うようにした。徳島および高知については今後の検討課題であるとの回答があった。

久保副会長からメールの開封業務について役割分担をしてはどうかと提案があり、浪越事務局長から、特別な事情がない限りスタッフ間で情報共有することは「すべきこと」の失念リスクの回避にもなり、意思疎通などのメリットも大きいと回答があった。また、前回役員会でお願いしたHPからの集計ツールを活用しての研修や会議の出欠等、徐々に普及していければ、事務の負担軽減も図れるのでご協力願いたい旨の発言があった。

吉井会長から、本部の体制やシステム等の移行もあり多忙な状況は理解している。引き続き効率的な事務運営を願いたい。また、加えて研修会等の開催に関しては事務局に全ての情報が入っている訳ではないので、本部常置委員会と連携している各担当幹事が中心となって進めていただきたいとの発言があった。

II 【審議事項】

(1) 「四国会拠点活用促進委員会」の廃止について

浪越事務局長から資料に基づき当該委員会の経緯説明があり、設立当初の目的は果たせたこと、現在では活動実績がないことなどを鑑み、一旦廃止することが提案された。

東総務・会計担当幹事から、現事務局への移転に伴い設置した委員会であり、拠点事務所の活用は重要なことではあるが、委員会としてではなく、四国会で推進することで十分

その役割を担うことは可能であるとの発言があり、石川顧問からも、手狭であった以前の事務所からの移転に伴い、その活用を推進しようと委員会を発足したが、一応の役割は果たしたものと考える。またコロナ禍でリモートが常態化し、それらに対応し得る環境にあるのかということが懸念されるが、そういった必要があれば、その時点で新たな委員会を立ち上げれば良いとの発言があり、久保副会長からも同意見である旨の発言があった。

また、事務局の事務室（研修室）利用細則は現状のままの解釈でいいのか。懇親会等にも利用できるのか、時間待ち等で立ち寄っていいのかなどの質問もあったが、東総務・会計担当幹事から、利用に制限は設けていない旨の回答があった。また石川顧問から、研修会等だけでなく、会員・準会員の図書の閲覧・貸出の際の利用することも想定しており可能であるなどの説明もあった。

意見が出尽くしたところで東総務・会計担当幹事から決議を求めたところ、全員挙手により承認された。

(2) 次期四国会幹事および監事の各県別の定数について

吉井会長から、従来の通り変更はない旨資料に基づき説明があった。特に異議なく、承認について決議を求めたところ、全員挙手により承認された。

III 【報告事項】

(2) 年賀状の廃止について

吉井会長から、地域会長会議において本部の動きに合わせ、年賀状を廃止することとし、従来からの送付先には資料の案内文を郵送した。なお、協会関係者には廃止の方向性が認知されているため送付はしていないとの報告がなされた。

(3) 四国会監事による期中監査（10月19日）の結果について

東総務・会計担当幹事から、指摘事項もなく適正に処理している旨の講評があったことの報告があった。

(4) 地域会会費の減免承認について

- 吉井会長から、資料に基づき四国会における会費減額・免除承認者の報告がなされた。
- (5) 第42回日本公認会計士協会福岡研究大会(オンライン)の結果報告について
- 2021年9月17日(金)10:00~17:00開催の標記研究大会の結果について、吉井会長から、資料に基づき参加人数等の報告がなされるとともに次回研究大会への積極的な参加を期待したい旨のコメントがあった。
- (6) 研修会実施報告及び開催予定について
- 実施報告
 - ① IT研修会〈本部収録動画〉(11月12日(金)四国会研修室+リモート)

加藤幹事から、今回はニーズに沿ったテーマの開催を検討したい旨の報告があった。
 - ② 社会福祉法人研修会(11月18日(木)四国会研修室+リモート)

加藤幹事から、菊池副会長の協力を得、四国4県の社会福祉協議会後援により、四国会会員及び社会福祉法人関係者からの参加があった旨の報告があった。
 - 開催予定
 - ① 2021下期監査事例研修会(全2回)(2021年12月14日(火)、20日(月)四国会研修室+リモート)

山地幹事から、収録動画により開催予定であり、現在の参加人数の報告があった。
 - ② 中小監査事務所連絡協議会研修会【中国会合同開催】(2022年1月25日(火)高松市: JRホテルクレメント高松+リモート)

木本幹事から、今後参加案内の発信を予定しているとの説明があり、越智幹事から、想定参加人数についての質問があった。木本幹事から、40人程度参集可能である旨回答があった。また、吉井会長から、コロナ等の状況によっては懇親会を開催してはどうかとの提案があり、木本幹事から本部に確認し検討を進めるとの回答があった。
 - ③ 医療法人研修会(2022年1月11日(火)四国会研修室+リモート)

加藤幹事から、医療法人の内部統制について研修会を開催予定で、医療法人関係者の参加も検討中である旨報告があった。吉井会長から、手続き的なことでわからないことがあれば、本部非営利委員会の担当者と直接連携を図る方が話が早く進むなどの提案があった。
 - ④ 松山会計研修会(2022年1月20日(木)テクノプラザ愛媛+リモート)

菊池副会長から、愛媛県商工会連合会の協力を得ながら開催予定であることの報告があった。
 - (7) 本部施策に係る地域会意見交換会(11月5日(金))実施報告について

吉井会長から、資料に基づき「ビジョンペーパー2022」の作成、「ブランディングプロジェクト」の取組状況、「財政構造改革PT」からの提言などについての本部との意見交換会についての報告がなされた。
 - (8) 松山商業高等学校制度説明会(2021年10月14日(木))について

菊池副会長から、ここ数年実施している当該校での制度説明会については対面で実施し、当該校から次年度の実施依頼も受けた旨の報告があった。吉井会長から、済美高等学校の説明会はコロナにより開催を見合わせているが、影響の有無について質疑があった。菊池副会長からは、学校側の運営に従い粛々と開催、通常授業どおりであった旨の回答がなされた。
 - (9) 実務補習所2021年期生のガイダンス・入所式について(参考資料:令和3年公認会計士試験合格調)

浪越事務局長から、資料に基づき報告があった。越智幹事から、現時点での入所生の人数について質問があり、四国での合格者14名のうち何人が高松支所へ入所するかは現時点ではわからないと浪越事務局長が回答した。入所式後の懇親会は予定どおり開催される。
 - (10) 本部役員会・委員会の報告について(9月~11月)
 - ① 本部理事会・地域会会長会議の報告

吉井会長から資料に基づき、それぞれの会議での重要事項について概要が報告された。

② 各委員会・会議の報告（出席委員）

- 全国広報推進協議会報告「コロナ禍での制度説明会の今後の方針について」
吉井会長から、CPE推進センター会議の中で標記説明があった旨報告された。

引き続き、CPE推進センター会議報告（抜粋）について、「2020年度地域別CPE履修結果について」「新型コロナウイルス対応下のCPE研修会実施ガイドライン」の説明を含め、その他要点の概要説明があった。

- (11) 四国会・各県部会の活動報告（9月～11月）
各副会長から主な活動について資料に基づき報告があった。

(12) その他

- ① 2021年度～2022年度の役員会等行事予定
東総務・会計担当幹事から予定について資料に基づき報告があった。
- ② 会員・準会員の異動・慶弔等（8月～11月）
資料に基づき報告があった。吉井会長から、異動情報について、都度、役員間での情報共有を図るよう提案があった。また、異動一覧について工夫し、よりわかりやすく表記するよう事務局に指示があった。



四国会役員と高知県部会会員との合同昼食会（高知・城西館）



第3回 定例役員会（高知・城西館）

補習所だより

東京実務補習所高松支所では、入所式並びに祝賀会を12月15日(水)に開催しました。

式典・祝賀会には吉井四国会会長、久保香川県部会長、池田高松支所運営委員長も出席されました。

高松支所には、2019年期生1名、2020年期生6名、2021年期生3名が在籍しております。



準会員会四国分会だより

本年度の準会員会分会長を務めさせていただいております、大西と申します。

旧年11月21日、オンラインにて準会員会全国幹事会が開催され、全国の代表幹事と分会長の活動報告、及び全国プロジェクトと表した企画が実施されました。

オンラインという状況下ではありましたが、特に全国プロジェクトでは他の参加者の皆様と活発に意見を出し合うことができ、貴重な経験となりました。

今後も、会員だからこそ出会える方々との交流を大切に、状況に応じて活動に励んでいく所存でございます。本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願ひ申し上げます。

準会員会四国分会 分会長 大西真圭

トピックス

公認会計士制度説明会の開催

2021年7月7日(水)に香川大学、7月27日(火)に今治西高等学校、10月14日(木)に松山商業高等学校において公認会計士制度説明会を開催しました。昨年度はコロナ禍でリモート形式が主でしたが、今

年度は人数の制限など必要な措置を取ったうえで対面式での開催となりました。

香川大学では四国財務局寄附講座の一コマで実施し、法学部・経済学部3・4年生79名が参加しました。今治西高校では事前に参加希望のあった1年生から3年生の生徒17名が、松山商業高校は昨年に引き続いて授業の一コマで実施し、商業科1年生80名が参加しました。



香川大学寄附講座 (2021年7月)



今治西高等学校職業紹介 (2021年7月)

ハロー！会計の実施

12月3日(金)徳島県松茂中学校体育館において「ハロー！会計」を実施しました。松茂中学校は徳島県の100年先を創る起業家育成事業の一環で、街の魅力化プロジェクトとしてクラス(班)で商品を企画、プレゼンし最終的には一つの商品を販



ハロー！会計in松茂中学校 (2021年12月)

売することを考えており、その過程で会計の授業(商品の値決め、原価計算)を取り入れたいとの意向により実現しました。四国会から真鍋広報担当幹事が講師を務め、徳島県部会会員3名が講師補助者として受講生徒をサポートしました。中学2年生127名が参加し大変好評でした。

会計・監査ジャーナル別冊第3号 (地域会特集)のインタビュー

取材日時：2021年7月2日(金)午後2時～3時30分
場所：四国会研修室

地域会の活動及び地方創生・地域経済活性化に係る協会活動を協会内外へアピールするため、地域会特集号として「会計・監査ジャーナル別冊第3号」が発行されることになりました。四国会では「新たな活力を地域に与えるパブリック分野での監査の可能性」をテーマに、真鍋広報担当幹事がインタビュアーとして、吉井会長と徳島県部会の工藤会員にインタビューを行いました。



取材終了後、玉藻公園で記念撮影

女性活躍推進委員会 クリスマスランチ会の開催

12月に香川、愛媛、徳島にてクリスマスランチ会を開催しました。昨年からのコロナ禍で、参集してのイベントはなかなか開催が叶いませんでしたが、感染状況も落ち着きを見せていた12月、三県の会場で交流会を行いました。久しぶりの集まりということもあり、本部研修の案内や近況報告、情報交換などを行い、各会場とも食事と懇談を楽しみ大変有意義な会となりました。



徳島県（2021年12月14日(火)）poesia



愛媛県（2021年12月15日(水)）鉄板焼き石鎚



香川県（2021年12月10日(金)）trattoriaたにぐち

四国会事務局の紹介

こんにちは、四国会事務局です。事務局は高松市中央商店街近くの高松市立美術館北側のビルの6階にあります。事務室・研修（会議）室の2部屋からなり、研修室は5～20名程度の役員会や研修会の開催のほか、資料等の閲覧にも利用されています。事務局長（2021年4月1日就任）と職員1名、非常勤スタッフ1名と実務補習所に立会する非常勤スタッフ1名の4名で業務を行っています。事務局の主な業務は、四国会役員および会員・準会員との情報連携、協会本部や四国会の運営にかかる業務、研修会等にかかる業務、会計教育研修機構東京実務補習所高松支所にかかる業務の中の総務的な仕事、また、香川県部会および愛媛県部会の業務支援が中心です。

さて、紙面をお借りして、お願いしたいことがあります。メールアドレスや郵便等での送り先住所について、協会本部へ変更の届出をされた際には、ぜひ事務局へもご一報くださいますようお願いいたします。郵便物やメールが迷子になるケースがあります。それと今後、ホームページの新着情報を会員サイト中心に充実させていきたいと考えていますので、定期的なチェックもお願いいたします。

コロナ禍でオンライン形式の研修等が多くなったことにより、会員・準会員の皆様とお会いする機会が少なくなっておりますが、今後とも事務局を身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

《事務局のメンバー》



左から寺岡さん、眞鍋さん、浪越事務局長、香川さん



2022年 四国会行事予定

(2021年12月現在)

月	役員会等	研 修	そ の 他
1月		11(火) 医療法人研修会(本部講師： 四国会研修室+リモート) 17(月) 新春全国研修会【中継】 (高松、松山、徳島) 20(水) 会計研修会(松山) 25(月) 中小監査事務所連絡協議会研修会 ※中国会合同(高松)	下旬 四国会ニュース(第79号)発行 予定
2月	10(木) 第4回厚生委員会(高松) 第4回定例役員会(高松)	2(水)～4(金) 春季全国研修会【中継】 (高松、松山、徳島)	(予定)香川県部会新年部会 (予定)役員会・香川県部会合同新年会 (高松)
3月		中旬(予定)女性活躍推進委員会研修会 23(水) 公益法人研修会(本部講師： 四国会研修室+リモート) 下旬(予定) DVD研修会	19(土)～20(日) お仕事フェスタ2022(河原学園) 下旬 四国会厚生事業(図書配布) 書籍の発送
4月	18(月) 2022年度 第1回厚生委員会 (高松) 2022年度 第1回定例役員会 (高松)		14(木) 決算監事監査
5月			
6月	23(水) 第56回定期総会(高松)		未定 定期総会記念ゴルフ大会

(注) 行事予定は、2021年12月現在のものであり、その後の変更又は追加(主として研修)されることがありますので、ご留意ください。なお、研修について、テーマ等希望があれば、何時でも事務局へご連絡ください。

会員の状況

(主たる事務所基準)

(2021年12月31日現在)

県 別	会 員		準会員			合 計
	公認会計士	監査法人	一号準会員	二号準会員	四号準会員	
香 川 県	115	0	1	1	19	136
愛 媛 県	71	4	0	0	6	81
徳 島 県	34	1	0	0	2	37
高 知 県	23	0	0	0	1	24
合 計	243	5	1	1	28	278

(参考) 西日本ブロック及び全国会員数

(2021年12月31日現在)

地域会	会 員				準会員						合 計
	公認 会計士	外国 公認会 計士	監査 法人	計	一号 準会員	二号 準会員	三号 準会員	四号 準会員	五号 準会員	計	
中 国	494	0	5	499	1	7	0	59	—	67	566
四 国	243	0	5	248	1	1	0	28	—	30	278
北部九州	823	0	5	828	0	14	0	144	—	158	986
南九州	225	0	3	228	0	3	0	20	—	23	251
沖 縄	90	0	1	91	0	1	0	7	—	8	99
—	—	—	—	—	—	—	—	—	169	169	169
全 国	33,211	2	269	33,482	85	523	0	5,942	169	6,719	40,201

(注)

- 1.一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
- 2.二号準会員は、会計士補
- 3.三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
- 4.四号準会員は、公認会計士試験に合格した者(一号準会員に該当する者を除く。)
- 5.五号準会員は、特定社員(地域会には所属しない。)

2021年7月～12月までの研修会 実施概要

開催年月日	2021年7月1日(木)	2021年7月14日(水)	
研 修 会	公認会計士ブランディング プロジェクト取組状況説明会	必須科目研修<監査の品質>	必須科目研修<不正事例>
テ ー マ	公認会計士ブランディング進捗 状況・中核概念案の説明会	監査の品質管理の実務 (事例解説集による 改善勧告事項事例の説明)	経営者倫理～経営者心理の 光と闇を科学する～
講 師	日本公認会計士協会常務理事、 総合戦略・企画担当 新井 達哉 氏	品質管理委員会 副主席レビュアー 高瀬 靖史 氏 品質管理委員会 レビュアー 木下 陽介 氏	帝京大学 大学院経済学研究科・ 経済学部経営学科教授、博士、 公認不正検査士(CFE)、 公認内部監査人(CIA) 伍井 和夫 氏
会 場 名	四国会研修室 + Microsoft Teams	四国会研修室 + Microsoft Teams	四国会研修室 + Microsoft Teams
参加者数 (単位：人)	8	20	19

開催年月日	2021年7月20日(火)		2021年8月17日(火)～20日(金)
研 修 会	必須科目研修<職業倫理>	必須科目研修<税務>	夏季全国研修会
テ ー マ	CPE(継続的専門研修制度)： 持続可能な公認会計士制度 のために	グループ通算制度について	2020年度の品質管理レビュー の結果と2021年度の品質管理 レビューの方針 ほか
講 師	明治大学名誉教授 山浦 久司 氏 CPE担当常務理事 兼山 嘉人 氏	公認会計士・税理士 佐藤 康治 氏	品質管理委員会 主席レビュアー 松田 玲子 氏 ほか
会 場 名	四国会研修室 + Microsoft Teams	四国会研修室 + Microsoft Teams	高松・松山・徳島
参加者数 (単位：人)	15	14	高松12 松山28 徳島21 合計61

開催年月日	2021年8月31日(火)	2021年10月20日(水)～22日(金)	2021年11月5日(金)
研 修 会	女性活躍推進委員会主催研修会	秋季全国研修会	本部施策に係る意見交換会
テ ー マ	投資評価と意思決定の実務	職業倫理に関する最近の動向について ほか	①ビジョン・ペーパー2022の作成について ②公認会計士ブランディングプロジェクトの取組状況(新ブランド案等)について ③財政構造改革PTから持続可能な協会財政の在り方に関する提言案の概要説明
講 師	公認会計士、 管理会計ラボ(株)代表取締役、 公認会計士梅澤真由美事務所 代表 梅澤 真由美 氏	倫理委員会 副委員長 山田 雅弘 氏 ほか	日本公認会計士協会常務理事 茂木 哲也 氏 新井 達哉 氏 菅谷 圭子 氏
会 場 名	四国会研修室+ Microsoft Teams	高松・松山・徳島	四国会研修室+ Microsoft Teams
参加者数 (単位：人)	8	高松4 松山7 徳島8 合計19	9

開催年月日	2021年11月12日(金)	
研 修 会	IT関連研修会(本部収録動画)	
テ ー マ	〈監査人のためのIT研修会〉リモートワーク環境下における電子的監査証拠の留意点	①データ分析におけるリスクフォーカスの実践—ACLによる実践— ②データ分析のためのデータクレンジングの実施 ③データ分析におけるビジュアル化の導入
講 師	IT委員会デジタルトラスト対応専門委員会 専門委員長 筏井 大祐 氏	中小事務所IT対応支援専門委員 弓場 啓司 氏 中小事務所IT対応支援専門委員 村杉 健二 氏
会 場 名	四国会研修室+ Microsoft Teams	四国会研修室+ Microsoft Teams
参加者数 (単位：人)	2	3

開催年月日	2021年11月18日(木)	2021年12月8日(水)~10日(金)
研 修 会	社会福祉法人研修会	冬季全国研修会
テ ー マ	一般的な内部統制と業態特有の内部統制について	コーポレートガバナンス基礎講座(全2回) ほか
講 師	非営利法人委員会社会福祉法人 専門委員会専門委員 吉岡 浩二 氏	一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会 理事、社外役員研修研究専門委員会専門委員長 箱田 順哉 氏 ほか
会 場 名	四国会研修室 + Microsoft Teams	高松・松山・徳島
参加者数 (単位：人)	35(社協22名含む)	高松2 松山2 徳島7 合計11

開催年月日	2021年12月14日(火)	2021年12月20日(月)
研 修 会	【第1回】2021年下期監査事例研修会	【第2回】2021年下期監査事例研修会
テ ー マ	「企業会計・監査」「学校法人」 「職業倫理」「非営利法人」	「企業会計・監査」「学校法人」 「職業倫理」「非営利法人」
講 師	業務本部 調査・相談グループ 研究員 小川 枝津子 氏 主査 葛西 正輝 氏 主任調査役 齋藤 光司 氏 主査 北川 隼司 氏	業務本部 調査・相談グループ 研究員 小川 枝津子 氏 主査 葛西 正輝 氏 主任調査役 齋藤 光司 氏 主査 北川 隼司 氏
会 場 名	四国会研修室 + Microsoft Teams	四国会研修室 + Microsoft Teams
参加者数 (単位：人)	21	12



異動一覽

(2021年7月~12月)

所属	氏名	異動年月日	異動内容
【入会】			
(会員)			
香川県部会	金森 聡	2021.8.11	北部九州会より転入 (EY新日本(有)監高松事務所)
〃	福井 健司	2021.8.27	近畿会より転入 (EY新日本(有)監高松事務所)
〃	石井 希典	2021.9.8	近畿会より転入 ((有)監トーマツ高松事務所)
〃	田中 惟	2021.10.6	兵庫会より転入 ((有)監トーマツ高松事務所)
愛媛県部会	大平 泰裕	2021.10.6	中国会より転入 (大平泰裕公認会計士事務所)
〃	近藤 敬吾	2021.11.11	東京会より転入 (近藤敬吾公認会計士事務所)
〃	芦立 祐嗣	2021.11.24	中国会より転入 (芦立祐嗣公認会計士事務所)
〃	古谷 和崇	2021.12.7	近畿会より転入 (古谷公認会計士事務所)
高知県部会 (準会員)	廣光 伸哉	2021.10.6	東京会より転入 (廣光公認会計士事務所)
香川県部会	原 正道	2021.8.23	新規入会 ((有)監トーマツ高松事務所)
〃	増田 弘輝	2021.9.27	京滋会より転入 ((有)監トーマツ高松事務所)
〃	岡 昌弘	2021.10.12	近畿会より転入 ((有)監トーマツ高松事務所)
愛媛県部会	脇 将勝	2021.8.17	京滋会より転入
【異動】			
(会員)			
香川県部会	米澤 尚悟	2021.8.23	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	清重 皓平	2021.9.21	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	木田 珠太郎	2021.9.21	準会員(香川県部会)から会員へ
(準会員)			
香川県部会	本田 雅俊	2021.8.17	地区異動(愛媛県部会より)
【退会】			
(会員)			
香川県部会	川端 修司	2021.7.28	近畿会へ転出
〃	門田 峻太郎	2021.8.11	東京会へ転出
〃	高関 裕三	2021.8.27	東京会へ転出
〃	工藤 鉄兵	2021.10.6	中国会へ転出
〃	大西 将貴	2021.10.6	近畿会へ転出
〃	矢形 良三	2021.10.25	業務廃止
愛媛県部会	大石 孝光	2021.12.16	業務廃止
徳島県部会	堀口 晃雄	2021.12.16	業務廃止
(準会員)			
香川県部会	一色 良太	2021.7.12	退会
〃	小牧 義弘	2021.10.6	東京会へ転出
【住所変更】			
(会員)			
香川県部会	宮下 拓也	2021.12.20	自宅変更
〃	住野 竜生	2021.12.27	事務所・自宅変更
愛媛県部会	熊本 結	2021.9.22	事務所・自宅変更
〃	古野 雅也	2021.10.6	事務所変更
徳島県部会	藤井 太資	2021.7.9	事務所変更
〃	村島 和聡	2021.12.7	事務所・自宅変更
〃	渡邊 功	2021.12.20	事務所・自宅変更
高知県部会 (準会員)	吉田 祐志	2021.12.20	自宅変更
香川県部会	一色 良太	2021.7.5	事務所変更
〃	米澤 尚悟	2021.7.29	自宅変更
〃	重松 英明	2021.8.17	自宅変更
〃	清重 皓平	2021.8.26	自宅変更
徳島県部会	天野 貴文	2021.10.26	事務所変更

寄贈等新刊図書一覧

(2021年7月～12月)

図書名	著者・編集者	発行所	寄贈者	寄贈年月
四半期報告書の作成の手引き (2021年第1四半期版) 四半期連結財務諸表を作成している 会社用	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2021年 7月
四半期報告書の作成の手引き (2021年第1四半期版) 四半期連結財務諸表を作成していない 会社用	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2021年 7月
新日本法規財団奨励賞受賞論稿集 (令和2年度 第10回)	(一財)新日本法規財団	新日本法規出版(株)	(一財)新日本 法規財団	2021年 8月
決算関連書類手引書 四半期報告書作成の手引き2021年第2・ 第3四半期版四半期連結財務諸表を作成 している会社用	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2021年 9月
決算関連書類手引書 四半期報告書作成の手引き2021年第2・ 第3四半期版四半期連結財務諸表を作成 していない会社用	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2021年 9月
2022年版監査実務ハンドブック	日本公認会計士協会	日本公認会計士 協会出版局	日本公認会計士 協会会長	2021年 10月
地方創生・中小企業支援シンポジウム ～金融機関と専門家にできる中小 企業支援とは～(講義録)			日本公認会計士 協会近畿会 会長・経営委員会 委員長	2021年 10月
包括外部監査の通信簿 令和2年度監査報告書と自治体の 平成30年度監査報告活用度	全国市民オンブズマン 連絡会議 包括外部監査評価班 (代表者光成卓明)	全国市民 オンブズマン 連絡会議	※四国会購入	2021年 11月
社外監査役等ハンドブック	日本公認会計士協会	日本公認会計士 協会出版局	同左	2021年 12月

◎会員慶弔 (2021年7月～)

ご出産おめでとうございます

田中 里佳 会員 (徳島県部会) 田中 博士 会員 (徳島県部会)
2021年7月22日 御令息

お知らせ

○会費のお支払いは口座振替（自動引落とし）が便利です

会費のお支払いは、毎回の振込みが要らず振込手数料も不要な「預金口座自動振替制度」が便利です。是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。

1. ご利用いただける会費の種類
普通会費、地域会費
2. ご利用いただける金融機関
都市銀行、ネット銀行、地方銀行、ゆうちょ銀行、信託銀行、信用金庫等
3. 申し込み方法
会員マイページより「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」を入手いただき、必要事項を記入・押印の上、協会経理グループまでご提出ください。

〈本部 経理グループ連絡先〉

TEL：0570-666-855、E-mail：support@sec.jicpa.or.jp

○会員情報確認のお願い

会員・準会員の皆様にご登録いただいている会員情報は協会本部・地域会からの書類送達や連絡等の基礎となる重要な情報です。

会員マイページにログインし、「会員情報の確認・変更」画面から会員情報に変更がないかどうかを次の要領にてご確認いただきますようお願いいたします。

なお、過去に既に確認いただいている方も再度ご確認いただきますようお願いいたします。

1. 協会HP (<http://www.hp.jicpa.or.jp/>) 画面から会員ログインボタンをクリック
2. ID及びPWを入力してログイン
3. 「会員情報の確認・変更」をクリック
4. ID及びPW入力
5. 「会員情報の確認・変更へ」をクリック
6. 登録事項及び届出事項がともに変更がないことを確認後、「登録事項・届出事項ともに変更なし」ボタンをクリック
7. 「登録事項・届出事項ともに変更なし」がグレーになり、「最終確認日=ボタンをクリックした日付」が表示されれば終了です。ご協力ありがとうございました。



〈本部 会員登録グループ連絡先〉 TEL：03-3515-1122、E-mail：kaiin@jicpa.or.jp

○会員マイページのご案内

日本公認会計士協会では、会員・準会員の皆様と協会をつなぐコミュニケーション・ツールとして「会員マイページ」を開設しています。「会員マイページ」は、会員・準会員の皆様のご自身専用のページとして、会員マイページ専用ID・パスワードでログインしていただくことにより、協会の登録情報の確認、最新情報の入手、各種検索サービスの利用が可能となります。

「会員マイページ」の初期設定がお済みでない会員・準会員の方々につきましては、下記本部ヘルプデスクへお問い合わせください。

〈Webヘルプデスク問合せ先〉 TEL：0570-666-855（音声ガイダンスは3番を押してください）

E-mail：web_support@sec.jicpa.or.jp

香川県事業承継・引継ぎ支援センターからのお知らせ

2021年4月1日～ 事業承継のすべての悩みをご相談いただける窓口



事業承継・引継ぎ支援センター

が誕生しました

従来の香川県事業引継ぎ支援センターと香川県事業承継支援窓口が統合し、2021年4月1日より、「香川県事業承継・引継ぎ支援センター」が誕生しました。後継者不在の企業、事業承継の不安を抱えている経営者の皆様のために、事業承継を無料でサポートいたします。

事業承継・引継ぎ支援センター 統合後の役割

- 事業承継（親族内、従業員、第三者）に関するご相談
- M&A マッチング支援
- 株価評価や事業承継計画書の策定支援（無料）
- 事業承継相談会やセミナー等の実施
- 経営者保証見直しに向けた専門家支援 など

香川県事業承継・引継ぎ支援センター ☎087-802-3033

当センターは、高松商工会議所が四国経済産業局から委託を受けて開設した公的機関です。

経営者の高齢化や後継者不在等の課題に加えて、新型コロナウイルスの影響により県内でも廃業増加や雇用減少等が懸念されています。これらに対応し、事業承継に関わるすべての相談・支援を行っています。

令和3年度の新規相談件数は10月末までの7カ月で367件。承継成約件数は32件となっています。県内で出張個別相談会や事業承継セミナー等を開催し、事業承継の実現・M&Aの成約等成果を挙げることで、地域に貢献したいと考えています。皆様のご利用をお待ちしています。



所在地：高松市番町二丁目2番2号
高松商工会議所会館1階
<http://www.takacci.or.jp/hikitsugi/>

「家族や従業員に引き継ぎたい」「後継者がいない」「会社を譲りたい」など 中小企業の皆様のご相談を事業承継に関する専門家が受けします。

何でもご相談ください!!!

- 無料相談
- 秘密厳守
- 事前予約

家族や従業員に事業を継ぎたい。

自社を他の企業に譲渡したい。

金融機関の保証がネックで子供への引継ぎが進まない。

後継者不在の事業所を譲り受けたい。

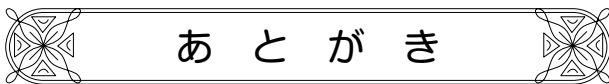
1 相談

2 支援

- 事業承継のアドバイス
- 課題解決の支援

家族・従業員への相談 M&A 後継者不在

3 引継ぎ



あ と が き

新年明けましておめでとうございます。

年末年始には新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたことから、ご親戚やご友人と久しぶりに会食などされ友好を深められた方も多かったのではないかと思います。広報委員会としても大学や高校での制度説明会、中学校ではハロー！会計を開催することができ、少しずつではありますが対面式の広報活動も再開できてほっとしております。

まだまだ、予断は許さない状況には変わりはありませんが、治療薬の開発など明るい兆しもあります。自粛生活もあと少しの我慢でありますようお願いばかりです。

本年も会員の皆様にとっていい一年になりますようご祈念申し上げ、あとがきとさせていただきます。

(広報担当幹事 真鍋 恵美子)



自営業・フリーランスのみなさんへ。
ゆとりのある人生を。

今にゆとり
掛金は全額所得控除で税金がおトク。

国民年金基金
国民年金
(老齢基礎年金)

老後にゆとり
基本は終身年金。だから一生退きお受け取り。

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。
国民年金基金

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。*非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ！

☎03-3515-1170 公認会計士国民年金基金
<http://kokunen.jicpa.or.jp/>

わたしも入っています。
優香

第43回研究大会 研究発表の募集について

〈メインテーマ〉公認会計士に期待される役割と業務～変化し続ける社会に向けて～

〈開催日〉2022年9月15日(木)

〈会場〉パシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

第43回研究大会は神奈川県会の主催により横浜にて開催します。横浜での開催は、1995年(平成7年)の第16回大会以来となります。

日本の経済システムは、20世紀半ばの高度経済成長を経て世界の潮流とともに変化し、デジタル技術の発展に伴う情報の透明化、規制緩和、中央から地方への権限委譲などが段階的に進み、ヒト、モノ、カネそして情報の流動化は今も進んでいます。

こうした中、公認会計士の監査業務は、市場における経済監視システムの重要な一翼を担い、社会に貢献してきました。近年には、監査上の主要な検討事項(KAM)を監査報告書に記載することで、実施した監査の透明性を向上させ、監査報告書の情報価値を高めて、時代の変化に対応してきました。そして、非営利組織に対する監査業務において、非営利組織の経営の健全性を担保する観点から、学校法人、地方公共団体の包括・個別外部監査に加えて、独立行政法人、地方独立行政法人、社会福祉法人、医療法人、農業協同組合等に公認会計士監査が相次いで導入されました。また、監査業務以外においても、中小企業の事業再生の支援業務、経営・財務管理等のコンサルティング業務、合意された手続業務など、社会生活上の様々な課題に対応することによって、公認会計士の業務は広がりを見せています。

公認会計士に対する社会からの期待や要請の高まりに、我々は応えていかなければなりません。監査業務では、非財務情報の開示やリスク・アプローチの強化への適応、非営利組織における法人形態別に個別設定された会計基準の共通化に向けた提案などに取り組んでいます。また、監査業務に限らず、デジタルトランスフォーメーション(DX)への対応や大規模災害の発生や疫病の蔓延した下での業務のあり方改革等、社会の要請に向き合っています。

横浜には、開港以来、日本における近代文明発祥の地とされるものが多くあり、鉄道、ガス灯、電話交換所、写真館、近代街路樹、パン、アイスクリーム、ビールなど枚挙に暇がありません。

これらの多くは、欧米を起源とし日本に持ち込まれ根付いたものですが、日本独自の創意工夫を経て進化を遂げ、世界に向けて発信されたものも少なくありません。

進取の精神に溢れた地、この横浜から、公認会計士に期待される役割と業務を発信しましょう。

研究発表募集要領

1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「公認会計士に期待される役割と業務～変化し続ける社会に向けて～」に関連するテーマとします。

3. 募集内容

(1) テーマ及び発表者(パネリスト)の募集

① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメー

ルに添付してお送りください。

- A4判10頁以内(目次、図表等全てを含みます)
- 1頁の設定 40字38行(フォントサイズは本文11ポイント)

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文(テーマ)及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネ

リスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書(テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載)を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- A4判5頁程度
※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料 (MS PowerPointソフトウェア利用) を後日ご提出いただきます。
- 人数はパネリスト及びコーディネーター含め5名以内 (厳守)

(2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ(例えば「公認会計士制度のあり方」など)及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門研修制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電話番号を記載の上、ご応募ください。

4. 応募及び推薦締切日

2022年2月28日(月) (必着)

5. 選考

継続的専門研修制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法(研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式)が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご注意ください。

6. 発表予定テーマ数

今大会(第43回研究大会)では、10テーマの発表を予定しており、うち2テーマは、研究会開催地域会である神奈川県会に割り当てる予

定です。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中に含めることも検討します。

7. 研究発表の決定

2022年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

8. 送付先及び問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1
日本公認会計士協会 総務本部研修グループ
TEL: 03-3515-1126 (直通)
E-Mail kenkyutaikai@sec.jicpa.or.jp

(企画運営) 継続的専門研修制度協議会・
神奈川県会研究大会実行委員会

〈参考〉前回の研究発表テーマ一覧(第42回研究大会)

前回メインテーマ：会計士が創る躍動の未来
～持続可能な社会の構築に挑む～

【研究発表①】

テーマ1	【パネルディスカッション】 地域発スタートアップ企業と躍動の未来
テーマ2	【パネルディスカッション】 地方創生・地域活性化と公認会計士の貢献 ～SDGs未来都市・北九州市をモデルに～
テーマ3	【パネルディスカッション】 社会環境等の変化への対応 ～税制及びユーザーとしての意識改革
テーマ4	【パネルディスカッション】 これからの政府公共調達のとおり方について ～新型コロナ禍を契機として～
テーマ5	【論文発表】 危険とリスクの会計 (The Structures of Accounting for Risks) —アメリカ会計基準の設定過程を通じた理論研究—

【研究発表②】

テーマ6	【パネルディスカッション】 『AI時代のヒューマンスキル』 ～心流マネジメントの進め方～
テーマ7	【パネルディスカッション】 リモートワークが変える企業の内部統制や監査 手法の変化と課題について
テーマ8	【パネルディスカッション】 無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)を 考える～組織の安定した成長のために、私たち 一人一人がとるべき行動を探る～
テーマ9	【論文発表】 備忘価値の会計・租税法・会社法上の論点整理 —裁判所の評価命令に基づく債務超過会社に対 する評価を経験して—
テーマ10	【論文発表】 公益法人など非営利組織における予算統制のあり 方と工夫

第43回 日本公認会計士協会研究大会

横浜大会 2022

開催日

2022年9/15(木)

会場

パシフィコ横浜ノース

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

記念講演者：講師／野並 直文氏

(株式会社崎陽軒代表取締役社長)

講演テーマ：シウマイモノガタリ



公認会計士に期待される役割と業務
～変化し続ける社会に向けて



企画運営

- 継続の専門研修制度協議会
- 神奈川県大会実行委員会

お問い合わせ

- 日本公認会計士協会 総務本部研修グループ

TEL.03-3515-1126

- 日本公認会計士協会 神奈川県会

TEL.045-681-7151

日本公認会計士協会 西日本連合總會 福山大会 2022年 10月21日(金)

会場 福山ニューキャッスルホテル

開催日程(予定)
10月21日(金)

- ・総会
- ・記念講演
- ・懇親会

10月22日(土)

- ・日帰り観光
- ・ゴルフ大会

記念講演 「福山城築城400年
－福山城と水野勝成の魅力－」

講師 小和田哲男 先生
静岡大学名誉教授 文学博士
公益財団法人 日本城郭協会 理事長



日本公認会計士協会 中国会

TEL 082-248-2061 FAX 082-242-1467